

# 「デジタル・シティズンシップ」の導入に向けて

「デジタル・シティズンシップ」とは、インターネットの利用を通じて社会に積極的に関わり、参加する能力のことです。GIGAスクール構想の推進により、学びの場でもインターネットが活用されるなど、インターネットが子どもたちの生活に欠かせないものとなった今、「デジタル・シティズンシップ」を身につけることが必要とされています。

## 「情報モラル」とのちがいについて

「情報モラル」とは、インターネットを安全に使うために必要な考え方や態度のことです。インターネットの利用に伴うさまざまな危険を子どもたちに正しく理解させ、トラブルに巻き込まれたり、加害者になったりすることを防ぐために、「こんな使い方をしてはいけません」「こうしたことを守りましょう」と指導していくことに重点を置いています。



それに対して「デジタル・シティズンシップ」では、インターネットをより正しく有意義に使えるようになるためにはどうすればよいかを、対話などを通して子どもたち自身に考えさせます。

子どもたちがデジタル社会の一員として必要なスキルを身につけ、インターネット上の危険に対しても、自分で考えて回避することができるように導いていくための取り組みなのです。

## 「デジタル・シティズンシップ」を導入する際のポイント

「デジタル・シティズンシップ」教育において重要なのが、大人の考えを押しつけないということです。禁止や制限による指導では、子どもが自分で考えて課題を解決する力が身につきません。子どものインターネットの使い方に問題があったときも、叱るのではなく、対話によって、「なぜそのようなことが起こったのか」「今後どのように対応していけばよいのか」を子ども自身に考えさせ行動できるようにすることが重要です。



総務省が公開している教材「家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ」を参考に、各ご家庭で「デジタル・シティズンシップ」教育に取り組んでみてください。  
[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/parent-teacher/digital\\_citizenship/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/)

まずは大人が「デジタル・シティズンシップ」に対する理解を深めて、子どもたちが積極的かつ安全にインターネットを利用することができるようになるための、手助けをしてあげてください。